

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	林道改良事業(単独)	会計	一般会計	事業No.	416	施策順No.	11-022
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-2-2-22-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	未改良及び未舗装の林道						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		未改良林道の整備計画延長(m)	2450	2450	2450	2450	2450		
		未舗装林道の整備計画延長(m)	8230	8230	8230	8230	8230		
意図		舗装、改良を行い、林道の機能の回復を図る							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		改良延長(累計)(m)	43	69	344	504	435	664	B
		舗装延長(累計)(m)	1165	1659	1999	2319	2238	2639	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	事業実施箇所が急峻であり事業実施に想定以上の費用を要した為、目標を上回れなかった。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	林道を開設、舗装、改良することにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る 合併により人家集落生活関連施設に直結する林道が増加したため、より安全確保や通行確保のための改良工事が必要となった。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	林道改良工事 1 改良 高町線外3路線 2 舗装 松川入線外1路線 3 立木補償	1 施工延長・幅員 2 施工延長・幅員 3 事業量	1 L=91m W=3.0m 2 L=239m W=3.0~4.0m 3 1式
23年度実施計画	林道改良工事 1 改良 千遠線外2路線 2 舗装 東沢線 3 立木補償	1 施工延長・幅員 2 施工延長・幅員 3 事業量	1 L=260m W=3.0m~4.0m 2 L=160m W=3.6 3 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 21→22繰越明許費 28,098千円 (そ)繰越金28,098千円(国)地域活性化・きめ細かな臨時交付金7,193千円
	国庫支出金		7,193	7,193		
	県支出金					
	起債					
	その他		43,969	20,905		
一般財源		1,894	1,754	8,208		
計(A)		53,056	29,852	8,208		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			29,852			

4 事業に対する市民や議会の意見

森林所有者や利用者から各路線個所ごとに要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)	経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	改良で891m、舗装で238m実施し、通行車両の安全確保、木材搬出の輸送力を向上した。			
	後期に向けた課題	未改良区間も多く、引続き事業を推進する必要がある。			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	改良工事においては、全延長の中で危険度の高い箇所(過去に事故が発生した箇所)を優先的に実施した。舗装工事においては、曲線半径の小さなカーブや縦断勾配の急な箇所を優先的に実施した。			
	後期に向けた課題	未改良区間も多く、引続き事業を推進する必要がある。			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討によるコスト縮減や効率的な事業実施を推進した。			
	後期に向けた課題	工法検討によるコスト縮減や効率的な事業実施を推進する。			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	林道の改良であり、林道管理者として林道改良工事を実施した。			
	後期に向けた課題	林道の改良であり、林道管理者として林道改良工事を実施していく。			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①林道管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全を確保した。 ②林道管理者としての安全確保や木材搬出の効率化を図った。			
	後期に向けた課題	①林道管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全を確保していく。 ②林道管理者としての安全確保や木材搬出の効率化を図る。			
全体を通じて	4年間の振り返り	改良が出来た箇所については、通行車両の安全確保及び木材輸送力を向上させることができた。			
	後期に向けた課題	未改良区間が多数あるが、効率意的な事業を進める必要がある。			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要があるかどうか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
-----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------